



選択肢

5年前から農業に夢中だ。自然との触れ合いは全身をのびのびと動かすことができ、身体も気持ちもすっきりする。週末農業であるので、毎回雑草との格闘からはじまるのだが、それもまた楽しい。

農業を行うには情報が必要だ。肥料の量、与えるタイミング、植え付け時期、土作り、植え付け間隔、温度管理、水の量、剪定……。考えることがたくさんある。私の情報源はYouTubeである。「トマトの栽培」と検索してみると「約3,580,000件」と表示される。選択肢は膨大だ。

1年目は、画面に表示された動画を上から順に見て実践した。必要な道具もそろえた。結果は不調。2年目は、体験をもとにしながら複数の動画を見比べて研究したが不調。3年目は、畑を分けし、複数の動画のやり方を比較して実践することにしたところやや収穫量が上向いた。4年目は、近くで同じ作目を植えている人に思いきって質問し、仲良くなったところ収穫量が倍増した。動画のやり方は間違っていないが、条件や環境がそれぞれ違うことに気が付いた。私が選んで見た動画は限定した場面においた対処法が主だったようだ。

今や情報はすぐに手に入る。常に身に付けているスマホに触ると大量の答えが表示される。時にはしゃべってくれる。

大事なことは、どのように選択するかだ。「芸能人が言ってるから」「みんながやってるから」「誰でも持ってるから」「キラキラ輝いているから」正しいことなのだろう、という思い込みが失敗につながる。生成AIがTwitterを運営する実験を行ったところ登録数がうなぎ登りに増えたという例もある。多角的な視点をもとに、自分なりに考え判断する練習が必要だ。学習指導要領にも「情報活用能力」の大切さがうたわれている。もちろん判断するには経験も必要だ。失敗しても、諦めずに挑戦し続けたい。

今年の収穫が楽しみだ。(教務主任 三浦と)

産業科1年宿泊研修(7月6、7日)

「仲間と協力する力」「身の回りのことを自分で行力」を育むことをねらいにテーブルマナー教室、布団敷き体験、グループホームの見学に取り組みました。

テーブルマナー教室では、ナプキンやカトラリーの使い方を学習しました。骨付きチキンの骨をナイフやフォークで外す体験では、真剣に取り組んでいました。

グループホームでは、利用者の方からよいところや他の利用者との付き合い方などを直接聞けた



ことで、将来の選択肢のひとつとして考えたいと思った生徒がいたようです。

商業施設では、普段見ることのできないバックヤードを見学し「自分が就職したらどんな仕事をやらせてもらえるか」

「どんな資格が必要か」など将来を意識した質問をしていました。

生徒たちは、「宿泊研修で見たり聞いたりしたことで、将来に対するイメージが深まった」と感想を述べていました。(増尾)



七夕飾り作り〔7月6日〕

普通科1年7組では、七夕飾り作りをしました。短冊作りでは、「好きな食べ物をいっぱい食べられますように」「元気に過ごせますように」「お笑い芸人になれますように」等、生徒それぞれの熱い思いを書いていました。また、折り紙を使った提灯作りでは、端と端を合わせて折ったり、線に沿ってはさみで切ったりする等、丁寧に作っていました。

学校内が華やかになり、季節を感じるよい機会となりました。(柴田)



産業科2年現場実習報告会〔7月3日〕

実習先での仕事内容に加え、良かったことや課題・改善点等、今後に向けた決意表明を行いました。

1年生から質問がたくさんありました。また、3年生から、これまでの経験を

受けた適確なアドバイスがありました。次の実習は3ヶ月後です。先輩たちのアドバイスを参考に、今回見つけた課題を少しでも改善して臨んでほしいと思います。(中村だ)



おいせ



〔スクールカウンセラー紹介〕

今年も、玉澤さんが毎月1回来ます。生徒だけではなく、保護者もお話することができます。

ご希望がありましたら、学校までお気軽にお問い合わせください。来校日は月行事予定に掲載します。